

各 位

会 社 名 ク リ ニ フ ァ ー 株 式 会 社
(コード番号 432A TOKYO PRO Market)
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 戸 田 晃 平
問 合 せ 先 財 務 管 理 ユ ニ ッ ト 本 部 長 越 光 滋
T E L 06-6941-0232
U R L <https://cliniphar.com/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年10月 7 日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後とも、一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

(単位：百万円、%)

項 目 \ 決算期	2026年 3 月 期 (予想)			2025年 3 月 期	
		構成比	対前期増減率		構成比
売上高	3,767	100.0	5.1	3,585	100.0
営業利益	95	2.5	△35.4	147	4.1
経常利益	118	3.1	△32.4	175	4.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	118	3.1	△37.6	190	5.3
1株当たり当期純利益	118円66銭			190円26銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭	

(注) 当社は、2024年11月28日付で普通株式 1 株につき500株及び2025年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき10株の株式分割を行っておりますが、2025年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

【2026年 3 月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

当期のわが国経済は、コロナ禍の影響が和らぎ回復基調を示す一方で、依然として不透明感を抱える状況にあります。医療業界では、少子高齢化や医療ニーズの多様化が一段と進展しております。

こうした事業環境のもと、当連結会計年度(2026年 3 月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高3,767,678千円(前期比5.1%増)、営業利益95,372千円(前期比35.4%減)、経常利益118,944千円(前期比32.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益118,669千円(前期比37.6%減)を予想しております。

(2) 業績予想の前提条件

① 売上高

当社グループは、医薬品ECプラットフォームの運営・システム開発・保守およびグループ経営管理を担う当社と、販売実務・調達・商品管理等を担う完全子会社の光成薬品株式会社の 2 社で構成され、グループ全体として「医薬品卸売事業」を主たる事業としております。

医薬品卸売事業は、高血圧・糖尿病などの生活習慣病治療薬をはじめとする需要が比較的安定している点が特徴です。インフルエンザの流行や花粉飛散による季節要因はあるものの、概ね過去の実績から予測可能な範囲で推移しており、これを基礎に予算を策定しております。具体的には、策定時点までの実績を業態別に精査し、通期の着地予測を行った上で、毎年 4 月の薬価改定による影響、新規取引先の登録や取引先の退会・廃業、医薬品供給状況、競合環境の変化などを加味して売上計画を算出しております。

その結果、国内販売については、2022年にリリースした医療機関・調剤薬局・薬店向けECサイト「光成マーケット」の利用拡大を背景に、新規取引先登録が堅調に推移しており、売上高は2,998,900千円（前期比5.6%増）を見込んでおります。海外販売については価格競争の激化により価格条件が厳しさを増しているためシェア確保を優先し、売上高768,778千円（前期比2.7%増）を予測しております。結果として、グループ全体の売上高は3,767,678千円（前期比5.0%増）を計画しております。

② 売上原価・売上総利益

医療用医薬品については、薬価基準が毎年3月に公示され4月に改定されますが、仕入先からの見積は薬価に一定の割引率を乗じて提示されるのが一般的であり、その割引率は前年から大きく変動しないことが多いため、仕入原価率は概ね前年並みと見込んでおります。一般医薬品については、メーカーの価格改定がない限り仕入価格に大きな変動はありません。一方、海外販売については価格条件が厳しく、売上総利益率は前年に比べ25～30%低下する見込みです。これらを踏まえ、売上原価は3,183,322千円（前期比8.9%増）、売上総利益は584,356千円（前期比12.0%減）と予測しております。

③ 販売費及び一般管理費、営業利益

販管費及び一般管理費は、前期実績を基に加算減算要素を加味して年度計画を策定しております。これらの結果、販管費及び一般管理費は488,984千円（前期比5.4%減）、営業利益は95,372千円（前期比35.4%減）と予想しております。

③ 営業外損益、経常利益

営業外損益は、保有する有価証券の利息等を見積もって営業外収益32,460千円を、同様に借入金の支払利息他の営業外費用8,888千円を見積もっております。これらの結果、経常利益は118,944千円（前期比32.4%減）と予想しております。

④ 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益は、予算策定時に該当項目が見当たらず予算化しておりません。法人税等については、光成薬品株式会社は2025年3月期末で税務上の繰越欠損金を有しているため、住民税均等割のみを見積もっております。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は118,669千円（前期比37.6%減）と予想しております。

以 上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する事業目標も含まれますがそれに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025 年 10 月 7 日
上場取引所 東

上 場 会 社 名 クリニファ－株式会社
コ ー ド 番 号 432A URL https://cliniphar.com/
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 晃平
問合せ先責任者 (役職名) 財務管理ユニット本部長 (氏名) 越光 滋 TEL 06-6941-0232
定時株主総会開催日 — 配当支払開始予定日 —
発行者情報提出日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025 年 3 月期の連結業績 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025 年 3 月期	3,585	1.7	147	△11.6	175	2.1	190	—
2024 年 3 月期	3,526	1.3	167	3.7	172	△12.3	△613	—
(注) 包括利益	2025 年 3 月期 147 百万円 (— %)		2024 年 3 月期 △640 百万円 (— %)					
	1 株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025 年 3 月期	190.26		—					
2024 年 3 月期	△613.40		—					

(注1) 当社は、2024 年 11 月 28 日付で普通株式 1 株につき 500 株及び 2025 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(注2) 2024 年 3 月期の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり当期純損失については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、2025 年 3 月期の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり当期純損失については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025 年 3 月期	2,662	1,016	38.2	1,016.06
2024 年 3 月期	2,279	868	38.1	868.30

(参考) 自己資本 2025 年 3 月期 1,016 百万円 2024 年 3 月期 868 百万円

(注) 当社は、2024 年 11 月 28 日付で普通株式 1 株につき 500 株及び 2025 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等 物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025 年 3 月期	96	△341	193	1,142
2024 年 3 月期	87	△388	△2	1,193

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期 末	合 計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024 年 3 月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025 年 3 月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2026 年 3 月期(予想)	0.00	0.00	0.00		—	

3. 2026 年 3 月期の連結業績予想（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）（％表示は対前期増減率）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
通 期	百万円 3,767	% 5.1	百万円 95	% △35.4	百万円 118	% △32.4	百万円 118	% △37.6	円 銭 118.66

- ※ 注記事項
- （１）期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社、除外 一社
- （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（３）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025 年 3 月期	1,000,000 株	2024 年 3 月期	1,000,000 株
② 期末自己株式数	2025 年 3 月期	—株	2024 年 3 月期	—株
③ 期中平均株式数	2025 年 3 月期	1,000,000 株	2024 年 3 月期	1,000,000 株

（注）当社は、2024 年 11 月 28 日付で普通株式 1 株につき 500 株及び 2025 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っております。期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2 -
(1) 当期の経営成績の概況.....	2 -
(2) 当期の財政状態の概況.....	2 -
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	2 -
(4) 今後の見通し	2 -
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3 -
3. 連結財務諸表及び主な注記	3 -
(1) 連結貸借対照表	3 -
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書.....	5 -
(3) 連結株主資本等変動計算書.....	7 -
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書.....	9 -
(5) 連結財務諸表に関する注記事項.....	10 -

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、コロナ禍の影響が緩和し、経済活動の正常化が進展する一方、依然として様々な課題が残る状況となりました。特に医療業界では、少子高齢化の進展や医薬品ニーズの多様化が進み、当社グループをはじめとする医薬品卸業界においても、柔軟な対応と迅速なサービス提供が求められました。こうした環境下、当社グループは医療機関・薬局への安定した医薬品供給を最重要課題と位置づけ、デジタル化の推進を通じた EC サイトの拡充や物流・在庫管理の効率化に注力しました。その結果、会員制 EC サイトの国内・海外向け登録会員数がそれぞれ 24%、15%増加するなど、顧客基盤の拡大を実現しました。一方、メーカー欠品や出荷調整による品薄傾向により、主力商品の供給不足が発生し顧客受注への十分な対応が困難となる場面も見られました。また、メーカー・卸間の価格堅調化や安価品の入荷減少、競合の台頭による価格競争の激化、さらにはジェネリック医薬品への切り替え加速による顧客単価低下など、経営環境は一層厳しさを増しました。

こうした状況を背景として、当連結会計年度の売上高は 3,585,611 千円（前年同期比 1.7%増）、株式上場準備費用や本社移転費用の発生等もあり営業利益は 147,748 千円（同 11.6%減）、経常利益は 175,840 千円（同 2.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 190,260 千円（前連結会計年度は 613,401 千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計期間末における流動資産の残高は 1,626,989 千円となり、前連結会計年度末に比べ 74,643 千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が 51,428 千円減少した一方、売掛金が 25,682 千円、商品が 102,718 千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計期間末における固定資産は 1,035,055 千円となり、前連結会計年度末に比べ 307,500 千円増加いたしました。これは主に建物が 18,809 千円、投資有価証券が 398,819 千円増加した一方、投資その他の資産のその他が 82,533 千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計期間末における流動負債は 595,147 千円となり、前連結会計年度末に比べ 321,753 千円増加いたしました。これは主に買掛金が 4,374 千円、一年内返済予定の長期借入金が 278,210 千円、契約負債が 10,593 千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計期間末における固定負債は 1,050,840 千円となり、前連結会計年度末に比べ 87,368 千円減少いたしました。これは主に長期借入金が 83,329 千円、リース債務が 1,474 千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計期間末における純資産は 1,016,057 千円となり、前連結会計年度末に比べ 147,758 千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益 190,260 千円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,142,519千円となり、前連結会計年度末に比べ51,428千円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は96,487千円となりました。これは主に、棚卸資産の増加により102,744千円の支出があった一方、税金等調整前当期純利益199,146千円、減価償却費33,783千円を計上したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は341,798千円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出43,662千円、投資有価証券の取得による支出610,177千円があった一方、投資有価証券の売却による収入176,922千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は193,406千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出105,119千円があったことによります。

(4) 今後の見通し

今後も、医薬品の供給不足や政府の薬剤費削減政策の継続、さらには業界内の競争激化により、経営環境は一層厳しさを増すことが見込まれます。こうした状況下にあっても、当社グループは、デジタルプラットフォームを通じて得られる顧客ニーズや市場動向の分析を活かし、的確な製品供給と付加価値の高いサービス提供を推進してまいります。これにより、市場競争力の強化と売上高・利益の維持拡大を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針です。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,193,947	1,142,519
売掛金	105,943	131,625
商品	187,048	289,766
その他	65,407	63,077
流動資産合計	1,552,346	1,626,989
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,690	40,657
減価償却累計額	△16,049	△19,208
建物(純額)	2,640	21,449
その他	76,015	80,286
減価償却累計額	△65,412	△69,660
その他(純額)	10,603	10,626
建設仮勘定	4,285	808
有形固定資産合計	17,528	32,884
無形固定資産	89,923	75,556
投資その他の資産		
投資有価証券	441,788	840,607
繰延税金資産	45,622	45,428
その他	140,395	57,862
貸倒引当金	△7,702	△17,282
投資その他の資産合計	620,104	926,615
固定資産合計	727,555	1,035,055
資産合計	2,279,901	2,662,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,780	16,154
短期借入金	100,000	100,000
一年内返済予定の長期借入金	101,786	379,996
未払法人税等	172	7,344
契約負債	20,947	31,540
その他	38,707	60,112
流動負債合計	273,394	595,147
固定負債		
長期借入金	1,020,008	936,679
リース債務	1,876	402
資産除去債務	11,520	11,520
その他	104,804	102,239
固定負債合計	1,138,208	1,050,840
負債合計	1,411,602	1,645,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	6,746	6,746
利益剰余金	878,216	1,068,477
株主資本合計	894,963	1,085,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,664	△69,166
その他の包括利益累計額合計	△26,664	△69,166
純資産合計	868,299	1,016,057
負債純資産合計	2,279,901	2,662,045

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)
売上高	3,526,310	3,585,611
売上原価	2,852,136	2,920,821
売上総利益	674,174	664,789
販売費及び一般管理費	506,981	517,041
営業利益	167,193	147,748
営業外収益		
受取利息	2,296	13,993
受取配当金	208	1,010
為替差益	2,503	1,908
投資有価証券売却益	3,009	10,692
投資有価証券評価益	5,355	—
業務受託料	—	15,000
その他	6,223	13,432
営業外収益合計	19,596	56,037
営業外費用		
支払利息	6,546	6,554
貸倒引当金繰入額	7,702	9,580
固定資産除却損	—	8,500
その他	387	3,309
営業外費用合計	14,636	27,944
経常利益	172,153	175,840
特別利益		
固定資産売却益	589	—
その他投資売却益	—	27,422
特別利益合計	589	27,422
特別損失		
子会社清算損失	346,640	4,116
投資有価証券評価損	210,356	—
役員退職金	158,434	—
減損損失	3,602	—
その他	2,272	—
特別損失合計	721,306	4,116
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△548,563	199,146
法人税、住民税及び事業税	290	7,388
法人税等調整額	64,547	1,497
法人税等合計	64,838	8,885
当期純利益又は当期純損失(△)	△613,401	190,260
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△613,401	190,260

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△613,401	190,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,664	△42,502
その他の包括利益合計	△26,664	△42,502
包括利益	△640,065	147,758
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△640,065	147,758
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	6,746	1,491,618	1,508,364
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△613,401	△613,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△613,401	△613,401
当期末残高	10,000	6,746	878,216	894,963

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高			1,508,364
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			△613,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26,664	△26,664	△26,664
当期変動額合計	△26,664	△26,664	△640,065
当期末残高	△26,664	△26,664	868,299

当連結会計年度(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	6,746	878,216	894,963
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			190,260	190,260
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	190,260	190,260
当期末残高	10,000	6,746	1,068,477	1,085,223

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△26,664	△26,664	868,299
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			190,260
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△42,502	△42,502	△42,502
当期変動額合計	△42,502	△42,502	147,758
当期末残高	△69,166	△69,166	1,016,057

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△548,563	199,146
減価償却費	37,160	33,783
固定資産除却損	—	8,500
子会社清算損失	346,640	4,116
その他投資売却益(△は益)	—	△27,422
投資有価証券評価損	210,356	—
役員退職金	158,434	—
減損損失	3,602	—
受取利息及び受取配当金	△2,505	△15,003
為替差損益(△は益)	△2,503	△1,908
投資有価証券売却損益	△3,009	△10,692
投資有価証券評価益	△5,355	—
業務受託料	—	△15,000
支払利息	6,546	6,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,702	9,580
売上債権の増減額(△は増加)	△24,885	△25,682
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,984	△102,744
仕入債務の増減額(△は減少)	2,598	4,373
その他	△74,656	23,203
小計	92,578	90,805
利息及び配当金の受取額	2,505	13,894
利息の支払額	△6,546	△6,554
法人税等の支払額	△920	△1,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,616	96,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△40,605	△43,662
投資有価証券の取得による支出	△296,809	△610,177
投資有価証券の売却による収入	33,622	176,922
短期貸付金の回収による収入	15,000	15,000
長期貸付金の回収による収入	—	18,881
敷金及び保証金の差入による支出	—	△36,934
敷金及び保証金の回収による収入	323	—
その他	△100,000	138,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,468	△341,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	100,000	—
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△205,919	△105,119
その他	3,484	△1,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,435	193,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△303,218	△51,428
現金及び現金同等物の期首残高	1,497,166	1,193,947
現金及び現金同等物の期末残高	1,193,947	1,142,519

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは医薬品卸売事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	868円30銭	1,016円06銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△613円40銭	190円26銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失については、潜在株式が存在しないため、記載していません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載していません。

2. 当社は、2024年11月28日付で普通株式1株につき500株及び2025年7月1日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。これらの株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算出しております。

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△613,401	190,260
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△613,401	190,260
普通株式の期中平均株式数(株)	1,000,000	1,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まなかった潜在株式の概要	—	新株予約権1種類(新株予約権の個数2,930個)。

(重要な後発事象)

(株式分割及び単元株制度の採用)

当社は、2025年5月29日開催の取締役会の決議に基づき、2025年7月1日付で株式分割を行っております。また、2025年6月30日開催の臨時株主総会の決議に基づき、2025年7月1日付で定款の一部を変更し単元株制度を採用しております。

1. 単元株制度の採用の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として株式分割を実施するとともに、1単元を100株とする単元株制度を採用いたしました。

2. 株式分割の概要

(1) 分割方法

2025年6月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、普通株式1株につき10株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	100,000株
今回の分割により増加する株式数	900,000株
株式分割後の発行済株式総数	1,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	4,000,000株

(3) 株式分割の効力発生日

2025年7月1日

(4) 1株当たり情報に与える影響

「1株当たり情報」は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算出しておりますが、これによる影響については、当該箇所に記載しております。